

## 説明資料

### 1. 内容

旧吉田茂邸のサンルーム、七賢堂、兜門は、いずれも平成21年3月の主屋火災の際、焼失を免れ、吉田茂存命当時の様相を残す貴重な建築であるとともに、庭園の重要な構成要素です。

当町においては、これまでに「旧木下家別邸」、「日本基督教団大磯教会礼拝堂」、「日本基督教団大磯教会門柱及び塀」の3件が登録されています。

平成30年11月16日（金）に、文化審議会文化財分科会から国登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に対して答申が行われ、文化財登録原簿への登録を経て、平成31年3月29日発行の官報（号外第63号）で告示されました。今回の登録により、当町の登録有形文化財（建造物）は合計で6件になりました。

### 2. 概要

#### 旧吉田茂邸サンルーム

所在地 中郡大磯町国府本郷

所有者 神奈川県

建築年代 昭和38年

特徴等 サンルームは、主屋西北隅に建つ。吉田五十八よしだいそやの設計で、細身の鉄骨材による骨組や軒を曲面としたポリカーボネイト屋根等、現代的な材料を繊細な意匠でまとめる。



#### 旧吉田茂邸七賢堂

所在地 中郡大磯町国府本郷

所有者 神奈川県

建築年代 明治36年頃／昭和35年移築

特徴等 七賢堂は、内庭の一角に西面して建つ。伊藤博文旧邸から移築し、当時は近代の元勳を祀っていた祠堂しどう。二間四方いりもやづくりの入母屋造・銅板葺で、正面は虹梁こうりょうを通して棧唐戸さんからとふう風の引戸を入れる。良材を用いた丁寧なつくりの小堂である。



## 旧吉田茂邸兜門

所在地 中郡大磯町国府本郷

所有者 神奈川県

建築年代 昭和29年

特徴等 兜門は、主屋の西側に位置し、国道

1号に繋がる前庭と内庭を区画する。

北面して建つ寄棟造・檜皮葺で、裏千

家今日庵よせむねづくり ひわだぶきの兜門に倣った上質な意匠を

こんにちあん持つ数寄屋建築である。

